

主要事業個別シート(第2次実施計画/H27・28年度)

ver.1.01

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	27004	橋梁長寿命化修繕事業	室名	維持修繕室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	会計	01:一般会計
	基本施策	09:道路網の整備	款	08:土木費
	施策の方向	04:道路施設の適切な維持管理	項目	02:道路橋梁費
戦略プロジェクト	01:まち守りプロジェクト	目	06:橋梁維持修繕費	
事業予定期間	H 27 ~ H - 年度	主な根拠法令要綱等	道路法・道路構造令・道路橋示方書	

② 目的・概要	対象	道路を利用する人
	目的	対処療法的な修繕から、計画的かつ予防保全的な修繕に転換し、安全で安心な道路サービスの提供を行うとともに、橋梁の耐用年数の延長「長寿命化」、修繕に要する経費のコスト縮減に努めるものである。
概要		平成23年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき、市が管理する橋長15m以上の橋梁(114橋)の補修を計画的に進めコスト縮減に努めるとともに、市民の安心・安全を確保する。

		平成27年度	平成28年度	
③ 年度別事業計画	計画額	・補修設計委託 聖橋・枯木橋・久我橋・羽黒橋・於々奈気橋	・補修工事 神辺大橋・高飛大橋・太岡寺ばんだ橋・市瀬橋・忍山橋	
		・補修工事 神辺大橋・青木橋		
	予算額	事業費	80,000千円	82,000千円
		国庫支出金	44,000千円	45,100千円
		県支出金		
		地方債		
		その他		
		一般財源	36,000千円	36,900千円
		事業費	78,500千円	30,319千円
		国庫支出金	43,175千円	16,675千円
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	35,325千円	13,644千円		
期間内総事業費(H27・H28)①		162,000千円	期間外事業費(H29以降)② -	
			総事業費 (①+②) -	

		平成27年度	平成28年度	(参考・平成29年度)
①	名称	長寿命化修繕工事済み橋梁数(累計)		
	補足	健全度Ⅰ・Ⅱの橋梁を対象に工事実施	4	9
②	名称			
	補足		橋	橋
③	名称			
	補足			
④	名称			
	補足			

事務事業評価シート

H28(主要事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	27004	橋梁長寿命化修繕事業	室名	維持修繕室
	基本施策の大綱	01:快適な都市空間の創造	財 会計	01:一般会計
	基本施策	09:道路網の整備	務 款	08:土木費
体系	施策の方向	04:道路施設の適切な維持管理	科 項	02:道路橋梁費
	戦略プロジェクト	01:まち守りプロジェクト	目 目	06:橋梁維持修繕費

② 目的・概要	対象	道路を利用する人
	目的	対処療法的な修繕から、計画的かつ予防保全的な修繕に転換し、安全で安心な道路サービスの提供を行うとともに、橋梁の耐用年数の延長「長寿命化」、修繕に要する経費のコスト縮減に努めるものである。
概要	平成23年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき、市が管理する橋長15m以上の橋梁(114橋)の補修を計画的に進めコスト縮減に努めるとともに、市民の安心・安全を確保する。	

		27年度	28年度
①	名称	長寿命化修繕工事済み橋梁数(累計)	計画値 4
	補足	健全度 I・II の橋梁を対象に工事実施	実績値 3
			単位 橋
②	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
③	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
④	名称		計画値
	補足		実績値
			単位

年度計画				年度実績					
④ 事業の計画・実績	・補修工事 神辺大橋・高飛大橋・太岡寺ばんだ橋・市瀬橋・忍山橋				・補修工事 神辺大橋 青木橋(H27年度繰越)				
	事業費	事業費	計画額 82,000	予算額 46,064	決算額 46,064	人件費	総人件費 ①	3,662	平均給与額×③
		国庫支出金	45,100	25,335	25,335		一般職員人件費 ②	3,662	
		県支出金		0			所要人員 ③	0.50	
		地方債		0			臨時職員人件費 ④	0	
		その他		0			受益者負担額 ⑤		
		一般財源	36,900	20,729	20,729		受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額							
		前年度からの繰越額		15,745	15,745				
		総人件費		①	3,662				
	総コスト		⑥	49,726					

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	社会資本整備総合交付金事業を活用して橋梁長寿命化修繕計画に基づき年次計画的に進めており、平成28年度は神辺大橋の修繕工事を行った。当橋梁については、3箇年の年次計画で継続的に進め計画どおり最終年度であるH28年度で工事完成が図れ予防保全的な修繕が行えた。	総合判定 A 順調に進んだ
	【反省点・課題】	当事業で活用している社会資本整備総合交付金事業の配当率が年々減少傾向にあり財源確保が課題となっており、事業の進捗率も悪くなっている。また、神辺大橋のように河川に渡架している橋梁工事については、今後も河川管理者との協議で施工条件で渇水期の制約などがあり、前年度から事前に河川協議をしておくことで実施時の協議がスムーズに進める必要がある。	

⑤ 事業の評価	【改善の方向性】	財源確保の課題があり、当事業で採択可能な他の交付金事業があるか検討していく必要がある。また、河川に渡架している橋梁工事については、渇水期時期の工事の制約を受けることから、前年度から事前協議を行うことで9月の発注に向け準備を行っていく。
	事業目的の妥当性: 適切	有効性: 適切